



九州本部拡大委員会開催!

委員長挨拶

2月4日ウエル戸畑多目的ホールにおいて、国労九州本部拡大委員会を開催しました。今回も前段に労働講座を開催し、国労米子地方本部倉下委員長より三江線問題について講演を頂きました。午後より委員会を開催して、本部から松川委員長が参加し情勢報告を行い、20年の春闘方針を全体で確認し、意思統一を行ないました。



4点について挨拶します。まず一つは、組織拡大強化についてです。新体制になり2年半が経過し、この間8名の組織拡大を勝ち取ったものの、退職者数に追い付いていません。組織拡大を大幅にしない限り国労の成長・発展はありません。各地区本部にお願いしている年3回のレク開催や、この春闘での行動・決起集会、新入社員行動など通じて組織拡大をしていかなければなりません。青年部では若い力の発行などしていきますので活用して全組合員の奮闘をお願いします。

2つ目として20春闘についてです。この間4年連続してJR九州では、ベアを獲得してきましたが大幅なベアとはなっていません。中央行動と国会議員要請、交運労協の決起集会など通じて国労の要求であるベア1万円の大規模なベアを勝ち取りましょう。

3つ目として安全安定輸送の取り組みです。今回のダイヤ改正でも70人を超す合理化となっています。新幹線ホーム要員の廃止、駅の委託化や無人化、駅旅行窓口の廃止、販売体制の見直しも進んでいます。要員の適正配置がされているのか疑問です。問題意識を持ち小さな点も目配りして交渉に生かさなければなりません。また日田彦山線問題についても沿線自治体の望む鉄道での復旧を求めていきます。

最後に平和と民主主義の問題です。暴走に暴走を続け、憲法改悪に意欲を燃やす安倍政権に対し、立憲野党が統一して闘う必要があります。戦争に突き進むことを必ず阻止しなくてはなりません。

憲法改悪反対、原発再稼働反対、沖縄の辺野古基地建設反対、20年春闘を勝利し最重要課題である組織拡大に全力で取り組むことをお約束し九州本部を代表しての挨拶とします。

国労会館門司地方部主催 労働講座



労働講座では、2018年3月に廃止となったJR西日本三江線（江津～三次 108.1キロ）の廃止反対で闘った米子地本の倉下委員長から「その現状と課題」について、報告を受け学習しました。JR西日本が三江線の廃止とバス転換を発表した以降、米子地本として存続に向け「反対署名」や「自治体決議」に取り組み、利用者アンケートも都合4回も行って、それを基に会社には公益企業として「内部相互補助」による路線存続は可能であると訴えてきました。しかし住民からは利便性の悪いダイヤで利用者が減り必要性は感じて「残して」と言えない環境が作られてきたことを反省しなければならないと報告がありました。阻止することはできなかったが、バス転換もこの先どうなるかわからないため、引き続きこの闘いを継続していく決意も出され学習会は終了しました。この問題の背景は違っても日田彦山復旧につながる問題であると感じました。米子の闘いに学びながら運動を強化することが求められます。